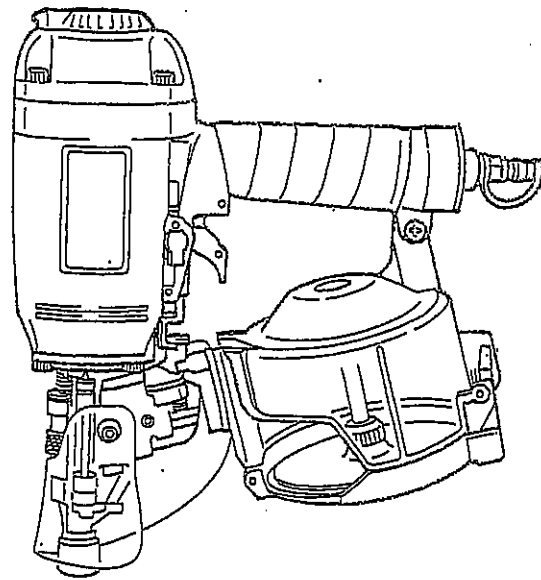


ロール釘打機

NV 65AE2 [ケース付]

取扱説明書 (抄)

このたびは ロール釘打機をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



各部の名称

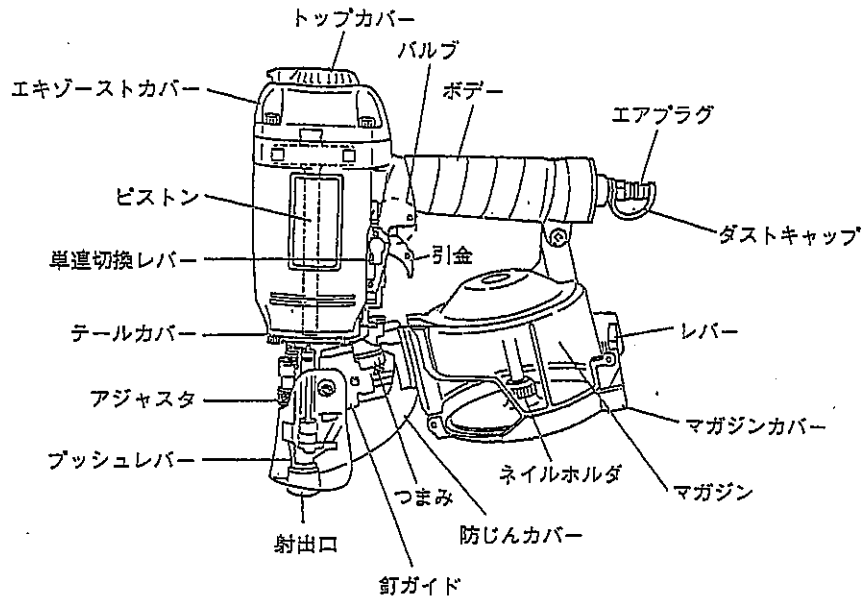


図 1

仕 様

動力形式	ピストン往復動式
使用空気圧力	0.44 ~ 0.78 MPa 4.5 ~ 8 kgf/cm ²
能力(使用釘)	針金連結釘 38 ~ 65 mm シート連結釘 32 ~ 50 mm
大 き さ	長さ 290 mm × 高さ 302 mm × 幅 130 mm
製 品 質 量	2.7 kg
釘 送 り 方 式	ピストン往復動式
使用エアホース(内径)	6 mm 以上

使 用 方

⚠ 警 告

- ・作業中は、必ず保護メガネを使用してください。
- ・作業中は、まわりの人の安全確保にも十分注意をはらってください。
- ・人体に射出口を向けないでください。
- ・射出口付近に人体や手、足などを近づけて作業しないでください。
- ・一度打った釘の上に、再度釘を打つことはしないでください。

注。低温時に使用すると、機体の動作が悪くなることがあります。

1. 釘の打ち方………

本機は、打ち込み対象物によって、効果的な使い方ができるように単発切換え機構を装備しています。

(1) 単発打ち

単発切換えレバーを上向きの単発位置にセットしてください。(図15)

⚠ 注 意

- ・単発打ちでも、引金は素早く、確実に引いてください。引金を素早く、確実に引かないと、打ち込み時の反動で連続打ちすることがあります。

単発打ちは、仕上げを重視する場合や狙った所に釘を打つ場合に使用します。打ち込む所にプッシュレバーを押し当て、引金を引く動作で、釘を1本ずつ打つことができます。(図16)

注。狙った所に釘を打つ場合は、単発打ちで作業してください。

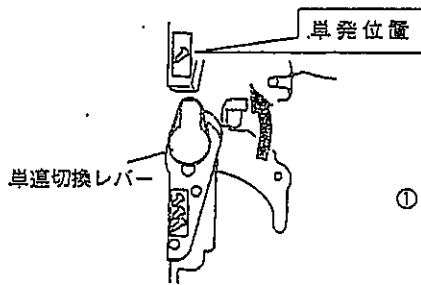


図 15

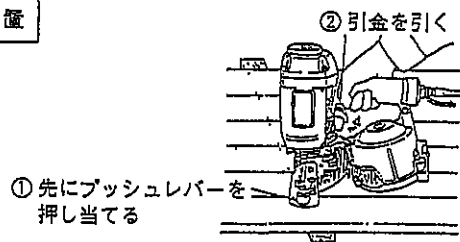


図 16

(2) 連続打ち

単連切換レバーを下向きに連続位置にセットしてください。(図17)

連続打ちは、はじめに引金を引いておき、その後、釘を打つ所に射出口を「トン・トン・トン」と押し当てれば、連続的に作業ができます。(図18)

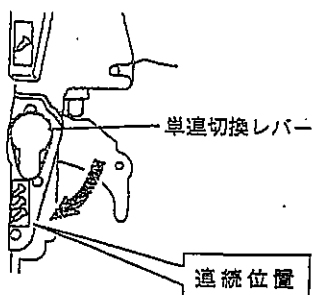


図 17

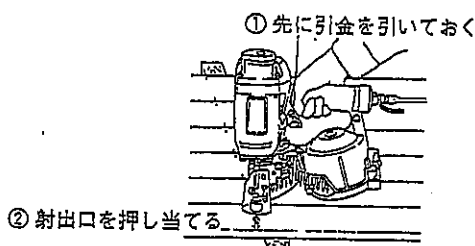


図 18

○ 安全装置について

本機は、プッシュレバーと引金が同時に作動しないと、釘が発射されない構造になっています。したがって、引金を引いただけのとき、または、プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当てただけで、釘は発射しません。これは、釘を打つとき以外に誤って引金を引いたり、プッシュレバーを押し当てただけで、釘が発射されることを防ぐためです。

注・空打ちの注意

連続して釘を打っていると、釘がなくなったことに気がつかず、そのまま使用している場合があります。これを「空打ち」といい、空打ちを続けると各部に影響を与えますので、空打ちをしないようご注意ください。